

泰明だより



Taimei・令和元年度・11

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第349号
中央区銀座五丁目1-13
Tel 03(3571)1765
Fax 03(3571)0672

読書の秋

校長 浮津 健史

2019年のノーベル化学賞を、「リチウムイオン電池の開発」が評価され吉野彰さんが受賞されました。リチウムイオン電池は、パソコンやスマートフォンには欠かせない電池であり、まさにわれわれの生活を支えている研究であるとも言えます。研究者として、結果が出なかったこともあったようですが、「10年先を見通し、解決するのが技術開発」という思いをもって研究を続けられた結果の素晴らしい受賞になりました。日本人の受賞は、27人目とのことであり、とてもうれしいニュースでした。

吉野さんが、化学に興味をもったのは、小学校時代に担任の先生から薦められた「ロウソクの科学」という本だったと聞きました。19世紀にかかれた英国の科学者マイケル・ファラデーが書いたものですが、ロウソクが燃えることを通して、たくさんの疑問が提示され、それを科学的に解決していく内容に、吉野さんの科学への興味がかきたてられたとおっしゃっていました。その後、吉野さんは、科学に対する興味を強くもち、好奇心を常にもって実験や観察を繰り返されたとのこと。

宗家のジョセフ・マーフィーは「読書の時間を大切にせよ。一冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれるのだから」と言っています。まさに、吉野さんにとって「ロウソクの科学」という本は、その後の人生を左右する貴重な本だったと言えるでしょう。

10月27日(日)～11月9日

(土)は秋の読書週間です。

本校でも、「泰明読書」で落ち着いた朝読書をする姿を見るとともに、この時期「お話美術館」「ひさまつ読み聞かせの会」など、読書に関する取組が計画的に行われています。

ぜひ、このような機会を通じて、本校の子ども達にも、これからの人生に大きく影響を与えるような本と出会う日が来てくれればと思っています。

校長相談日 11月12日(火)

9:00～14:00

11月のカレンダー このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	金	泰明タイム 泰明読書	ひさまつ読み聞かせの会④⑤	A
2	土			
3	日		文化の日 子ども歌舞伎	
4	月		振替休日 将棋大会	
5	火	泰明読書	画廊巡り(3)⑤⑥	A
6	水		地域別児童会⑥ 6時間授業 地域巡回指導 巡回平和展(終) ボランティア体験(4)②③	B
7	木		生活科見学(2) ボランティア体験(4)①～④	B
8	金	保健講話 林先生	色覚検査(4) 避難訓練 読書週間(終)	A
9	土		みゆき通りコンサート	
10	日		ミニバスケットボール大会	
11	月	講話	委員会活動⑥ 縄跳び講習(5,6)⑤	A
12	火		縄跳び講習(1,2)⑤(3,4)⑥	B
13	水		4時間授業 4-2は研究授業のため5時間授業	B
14	木		教育相談日[1]	B
15	金		明正小学校研究発表会参加のため4時間授業	B
16	土		土曜授業日	B
17	日			
18	月	講話	クラブ活動⑥	A
19	火		生活科見学①教育相談日[2] ボランティア体験(4)②③	B
20	水		4時間授業 就学時健診	B
21	木		教育相談日[3]	B
22	金		教育相談日[4] ありがとう集会	A
23	土		勤労感謝の日	
24	日			
25	月	講話	クラブ活動⑥	A
26	火	音楽朝会 (5年生連合音楽会発表)	みゆき通り清掃	A
27	水		りぷりんと 2-2は研究授業のため6時間授業	B
28	木		連合音楽会⑤PM	B
29	金	泰明タイム 泰明読書	縦割り班集会	A
30	土			

()は学年、○は実施する授業時間です。

2019の子展に向けて

図工専科 高村 弘司

本校の図画工作科の学習では、外部から募集のあった働く消防の写生会やポスター以外は、大きなきっかけとなるキーワード（水っぽい・・とかそこに立ってなさい！みたいな）や材料（紙やら木ですね）はあるものの、その起点から子ども達は、自分の思いや材料体の触れ合う感じを元にして、自分（自己）の考えた表現に向っていきます。

その元になる「いいこと考えた！」の核は、子ども達の体の中で徐々に自分の表したいモノやコトに広がり深まりながら経験したり、やってみたいと思ったりしています。その子自身の引き出し（知識や技能）から選んで表出することが尊いのです。子ども達の表現を見ていただくことで、一見違う学年で同じような題材に見えるものもあるかもしれませんが、前の経験が創造的な技能としてつながりを持ち発送や構想の力が育成されていきます。

今回の子展も、展示してある会場の鑑賞視線が子どもの目線まで低くなっていますから、つくっている時（図工の時間）の子どもと同じ目線で、ぜひ鑑賞してみてください。きっと、子ども達の考える空間での、生のつぶやき声が聞こえてきますよ・・・。

収穫の秋

3年担任 水野 雅史

3年生は春の遠足で、柏学園に「芋苗植え」に行きました。時間が経つのは早いもので、季節は秋となり、10月の遠足で、春に植えた芋の苗を掘りに行きました。今年は台風など、天候の影響が心配されましたが、柏学園の方々が、一生懸命育ててくださったおかげで、元気に成長しており、子どもたちも収穫をすることができました。

また、今回の遠足では、幼稚園生さんと一緒にいき、昼食を食べたり、自然散策をしたりして交流を行いました。芋掘り遠足を通じて、普段なかなか触れられない自然を満喫し、新しい発見をしたり、幼稚園生と交流を深めたりし、有意義な時間を過ごすことができました。大きく育った芋の収穫を思い出し、これからもお兄さん、お姉さんらしい姿を見せ、立派な態度で過ごしてほしいと思います。

生活科「わたしのまち はっけん」

2年担任 林 恵津

毎年、銀座の街にある様々なお店や施設にご協力をいただいて、生活科の学習で「まちたんけん」を行っています。

9月中旬に、小学校の周りをくまなく歩くと、街の様子を見ることができました。緑豊かな日比谷公園、高層ビルや駅や交番など、様々な場所が目に飛び込んできました。

10月21日（月）、24日（木）に様々なお店や施設の中へ入り、子ども達も一緒に体験しました。10月21日（月）、24日（木）に様々なお店や施設の中へ入り、子ども達も一緒に体験しました。10月21日（月）、24日（木）に様々なお店や施設の中へ入り、子ども達も一緒に体験しました。

オリンピック・パラリンピック教育

オリパラ担当 三角 康祐

2020年東京オリンピック・パラリンピックまで、残り270日を切りました。これに先立ち、東京都では平成27年度からオリンピック・パラリンピック教育を行ってきました。また、一校一国運動として、本校はインドに関する様々な取組や学習を行ってまいりました。

オリンピック・パラリンピック教育は、「東京2020年大会、さらにその先に活躍するために、必要な力を身に付ける」「人生の糧となるようなかけがえのないレガシーを、心と体に残す」ことを目的として進められてきました。教育活動全体を通して、オリパラ教育をすすめて、大会が始まる前だけでなく、大会終了後も意義のある教育となるよう取り組んでいきます。